

令和2年度

市 政 世 論 調 査 報 告 書

令和3年2月

東 大 阪 市

はじめに

令和２年度の幕開けから、新型コロナウイルス感染症が全国的に猛威を振るい、現在も多くの新規感染者が確認されていることから、未だ予断を許さない状況です。そのような状況の中、市民の皆さまには感染拡大防止にご協力いただいておりますことを、心よりお礼申し上げます。

本市といたしましては、感染拡大防止と経済活動を進めること、車で言う、ブレーキとアクセルをバランスよく作動させ、市民の皆さまが安心して暮らしていただけるよう東大阪市役所一丸となり全力を尽くしてまいります。

市民の皆さまには、新型コロナウイルスに対して「正しく恐れる」心構えで、引き続き、基本的な感染予防対策を行っていただきますようお願いいたします。

さて、東大阪市では、令和２年７月に、東大阪市の将来像を示す東大阪市第３次総合計画を策定いたしました。

行政だけではなく、市に関わりのある皆さまが、それぞれのもつ個性を発揮し、「東大阪 ONE TEAM」として、魅力あるまちづくりを推進し、「つくる・つながる・ひびきあうー感動創造都市 東大阪ー」の実現をめざし全力で取り組んでまいります。

また、よりよいまちづくりを進めるためには、多様化する市民の皆さまのニーズや意識動向をよりの確に把握し、すみやかに市政に反映させることが重要であると考えております。そのため、市民の皆さまの声を市政運営の基礎資料とすべく、本市では毎年、市政世論調査を実施しております。

今回は、「観光まちづくりの取組について」「タクシーの利用について」「東大阪市の広報活動について」「食育について」「多文化共生について」「空き家について」について、2,700人の市民の皆さまを対象に調査を実施したところ、多くの方々からご回答をいただきました。これらの結果は、市民の皆さまの貴重なご意見として、市政の発展に大いに活用させていただきます。

結びに、この調査にご協力いただきました市民の皆さまに心から厚くお礼申し上げます。

令和３年２月

東大阪市長 野田 義和

— 目 次 —

I. 調査の概要

1 調査目的	1
2 調査項目	1
3 調査設計	1
4 回収結果	2
5 地域別回収結果	2
6 報告書の見方	2

II. 回答者の属性

(1) 性別	3
(2) 年齢	3
(3) 職業	4
(4) 家族構成	5
(5) 住宅状況	6
(6) 居住年数	6

III. 調査結果の概要

IV. 調査結果の分析

1 観光まちづくりの取組について	12
(1) 観光客や宿泊客の増減	12
(2) 東大阪市に来てほしい観光客	14
(3) 「ひがしおおさか体感まち博」の認知度	17
(4) 「ひがしおおさか体感まち博」で「案内人」になることへの関心	19
(5) 外国人観光客との交流意向	21
2 タクシーの利用について	24
(1) タクシーの利用頻度	24
(2) タクシーを利用しない理由	26
(3) タクシー利用料金の上限	28
(4) タクシーで相乗りできる相手	33
(5) タクシーを自宅に呼ぶために実現してほしいこと	35
(6) 相乗り可能なタクシー乗り場の利用意向	38
(7) タクシー利用に求めるもの	40

3	東大阪市の広報活動について	43
(1)	市政に関する情報の入手先	43
(2)	「東大阪市政だより」を読む習慣	46
(3)	広報番組「虹色ねっとわーく」の視聴状況	48
(4)	東大阪市のウェブサイトのアクセス経験	51
(5)	東大阪市のウェブサイトでの情報の見つけ方	53
4	食育について	56
(1)	「食育」への関心	56
(2)	栄養成分表示を参考にする頻度	58
(3)	食品選びの知識の有無	60
(4)	食物の栽培体験の有無	62
(5)	食べ残しをしないように気をつけているか	64
5	多文化共生について	66
(1)	「多文化共生」の認知	66
(2)	外国人住民との付き合い	68
(3)	外国人住民との交流意向	70
(4)	外国人住民と日本人住民が共に暮らしやすい地域に するために地域の人ができること	73
(5)	外国人住民と日本人住民が共に暮らしやすいまちに するために行政に求める取組	76
6	空き家について	79
(1)	「空家等対策の推進に関する特別措置法」の認知	79
(2)	「空き家」との関わり	81
(3)	民間団体と連携した相談会で相談してみたいこと	84
(4)	個人の所有物に税金が投入されることについての考え	87
(5)	東大阪市内に求める空き家に関する支援制度	90
V.	調査票	93
VI.	数表	101